2026 年 11 月 17 日

2026 年度母子里雪氷学実習（北極・南極学特別実習 IV）

【学外者向け】実習参加者募集のお知らせ



【実習の概要】

本実習では、北海道でも有数の豪雪寒冷地である母子里の北海道大学・雨龍研究林で、降雪、積雪、寒冷気象に関する野外観測を実施します。北海道大学北極・南極学カリキュラムの基幹科目として開催するプログラムですが、ArCS III 北極域研究強化プロジェクトと連携して、全国の大学院生や実務者のみなさんにも参加して頂けます。参加希望の方は、以下を良く読んで 2026 年 12 月 2 日（水）までに申請して下さい。

【実習の目的】

(1) 寒冷豪雪地の積雪・水文・気象・森林環境に関する知識と観測技術の修得
(2) 積雪地域・寒冷環境下での行動技術の習得
(3) 参加者・教員間の知識と技術の交流

【実習内容】

・積雪断面観測・積雪広域分布観測・気象観測、演習林巡検、講義、解析、発表会

【対象者】
修士・博士の大学院生、若手実務者（卒後 10 年以内）

【引率者】
杉山慎（北海道大学・北極域研究センター/低温科学研究所）
白岩孝行（北海道大学・低温科学研究所）
下山宏（北海道大学・低温科学研究所）を予定
エヴゲニ・ポドリスキ（北海道大学・北極域研究センター）

【実習の詳細】
日程：2026 年 1 月 18 日（月）～22 日（金）
場所：北海道雨竜郡幌加内町字母子里
雨龍研究林・研究林の宿泊施設に 3 泊
募集人数：北海道大学 学外者 2～3 名
参加費用：所属機関・企業の所在地から母子里への往復交通費と宿泊費を実費支給。

【プログラム（予定）】
1 月 18 日（月）：北海道大学にてガイダンス
1 月 19 日（火）：母子里へ移動、気象測器の設置など
1 月 20 日（水）：講義、積雪断面観測、演習林での巡検
1 月 21 日（木）：講義、山地での積雪測定、気象測器の回収、データ解析
1 月 22 日（金）：発表会、札幌へ移動

【注意事項】
・野外活動の技術と安全について十分な知識を持つことを条件とします。
・希望者多数の場合、研究テーマと実習・極域との関連性、実習が参加者の今後に与える効果、学年・専門分野・性別・所属先のバランス、などを考慮して選考します。

【参加申し込み方法】
　末尾の申請書を ArCS-3 北大事務局までメールで提出して下さい。
・締め切り：12 月 2 日（水）
・送付先：ArCS-3 北大事務局（arcs3_HU@arc.hokudai.ac.jp）

【過去の実習】
以下にて実習の概要と前回実習の写真を見て頂けます。

https://www.arc.hokudai.ac.jp/project/arcs3/Moshiri
https://www2.lowtem.hokudai.ac.jp/gisg/sugishin/photo_album/moshiri2026/moshiri2026.html

母子里雪氷学実習（北極・南極学特別実習 IV）申請書（2026 年度）

1. 基本情報
氏名（漢字・フリガナ）：
生年月日：_____年____月____日（満____歳）
性別　☐ 男　☐ 女　☐ その他　☐ 無回答
所属大学・研究科・専攻：
学年：☐ 修士 1 年　☐ 修士 2 年　☐ 博士課程
☐ その他（_____）
指導教員（または職場の上長）：
指導教員（または職場の上長）の許可：☐ 指導教員から参加の許可を得ました
連絡先メールアドレス：
電話番号：
現住所：
食物アレルギーの有無　無/有（有の場合は具体的に記述して下さい）

2. 応募動機・研究との関連性・本実習への応募動機（400 字以内）：

――――――――――――――――――――――――――――――

・指導教員（または職場の上長）に許可を得て申請してください。
・野外行動用の衣類、靴など基本的な必要装備は各自で準備して頂きます。
・野外活動中に適用される保険に加入してください。
・写真や参加報告の提出に協力頂きます。

提出先：ArCS-3 北大事務局（arcs3_HU@arc.hokudai.ac.jp）